

インフラ分野のオープンデータ取組方針

インフラ分野のDX推進本部

国土交通省のDX推進に向けた課題

- 国土交通省DXビジョンにおいて取組をより強化すべき領域として、「行政サービスのデジタル化の推進」、「データを活用したEBPMの推進」、「オープン・イノベーションの推進」が掲げられている。
- インフラ分野のオープンデータ化を推進するため、「国土交通インフラ分野のDX推進本部（本部長：技監）」において、令和7年4月に取組方針を策定。

1-2. 国土交通分野のDXの目指す姿

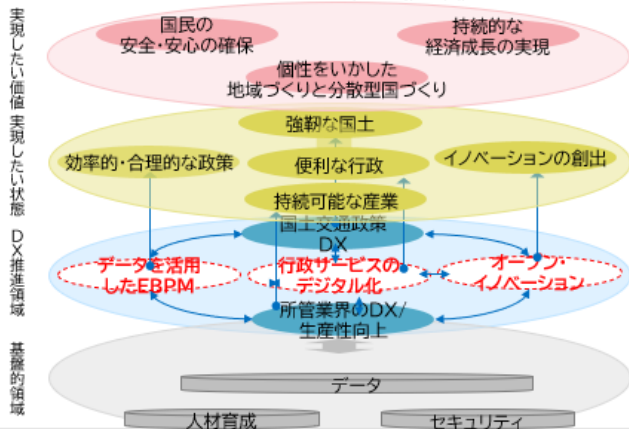
国土交通省DXビジョン I 基本理念及び取組を強化すべき領域

- ・ 我が国を取り巻く環境の変化、顕在化しつつある課題を踏まえ、「データを基軸としたDX施策の連携による価値創出の加速」を目指し、国土交通省DXビジョンの基本理念を以下のとおり定める。

国土交通省におけるDXは、「行政サービスのデジタル化」、「データを活用したEBPM」、「オープン・イノベーション」を強化し、データを最大限活用しながら、「国土交通政策のDX」、「所管業界のDX/生産性向上」との相互連携を推進することで、既存の仕組みの変革と新たな価値創出を加速します※。あわせて、「データ」、「人材」、「セキュリティ」の3つの基盤的領域の強化を推進します。これにより、「国民の安全・安心の確保」、「持続的な経済成長の実現」「個性を生かした地域づくりと分散型国づくり」の実現を目指します。

※領域間連携プロジェクトの創出を加速化するため、10件程度/年のユースケースを生み出し、2030年を目途に自律的な取組が展開できる環境づくりを目指す。

DXビジョン基本理念(概念図)



各推進領域における取組状況

行政サービスのデジタル化の推進	業務効率化効果が低い、申請情報をデータとして活用できていないなどに課題
データを活用したEBPMの推進	政策立案に効果的にデータを活用できているとは言い難い
オープン・イノベーションの推進	オープンデータのためのスキームやツールが十分整備されているとは言い難い
国土交通政策DXの推進	テーマ単位で司令部部局が存在し、関係部局が連携して推進中
所管業界のDX/生産性向上の推進	テーマ単位で司令部部局が存在し、関係部局で推進

取組をより強化する必要
上記3領域もいかけた取組を強化

インフラ分野において
オープンデータの
取組方針を策定

インフラ分野のDX推進本部の開催経緯

- インフラ分野において、データとデジタル技術を活用し、安全・安心で豊かな生活を実現するため、「インフラ分野のDX推進本部」(本部長:技監)を設置
- これまで、「インフラ分野のDXアクションプラン」や「i-Construction 2.0」について議論。
- 令和7年4月には「インフラ分野のオープンデータの取組方針」を策定

インフラ分野のDX推進本部 開催経緯

令和2年 7月29日 第1回

ーインフラ分野のDX推進本部の立ち上げ

⋮

令和4年 3月29日 第5回

ーインフラ分野のDXアクションプランの策定

⋮

令和5年 7月26日 第8回

ー「インフラ分野のDXアクションプラン第2版」の改定について

令和6年 4月 5日 第9回

ー i-Construction 2.0 建設現場のオートメーション化について

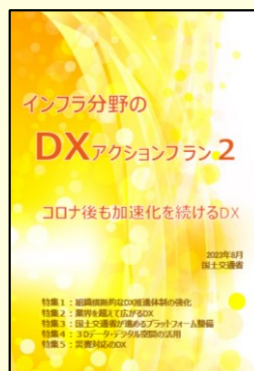
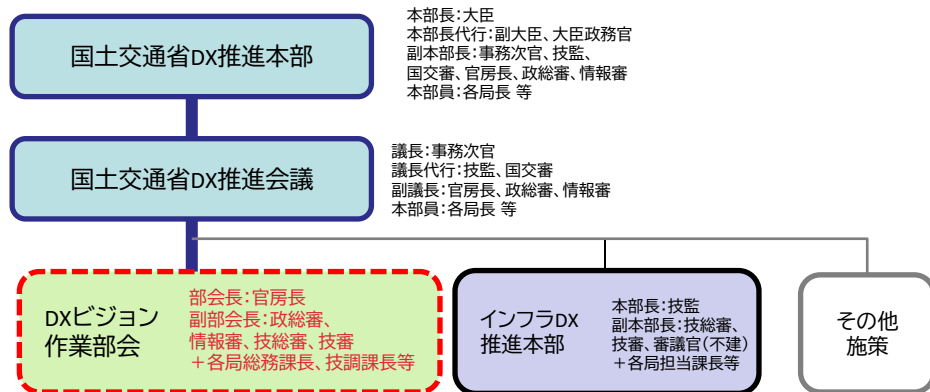
令和6年 10月31日 第10回

ー インフラ分野のオープンデータについて

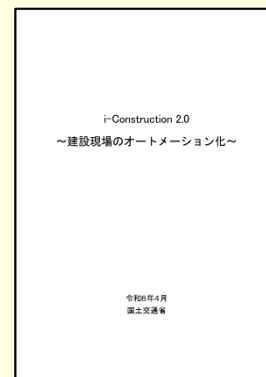
令和7年 3月17日 第11回

インフラ分野のオープンデータ取組方針

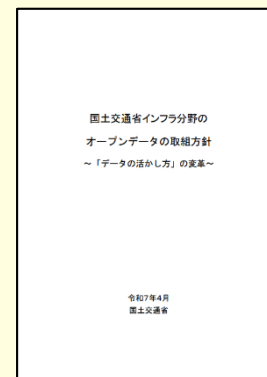
国土交通省 DX 推進体制



■各施策の取り組み概要や具体的な工程を明らかにした「インフラ分野のDXアクションプラン第2版」の改定(令和5年8月)



■建設現場の生産性向上に向けi-Construction 2.0 建設現場のオートメーション化を公表(令和6年4月)

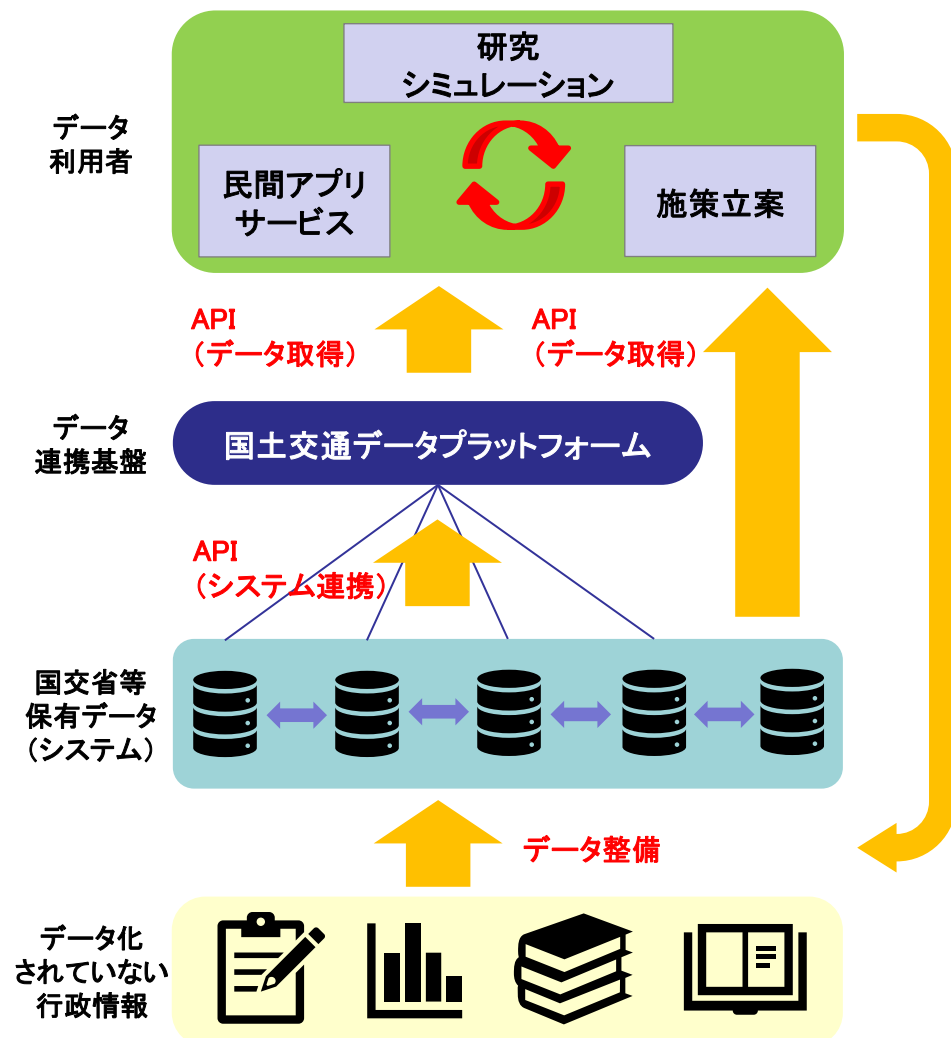


■インフラ分野におけるデータ活用による施策の効率化・高度化に向け、インフラ分野のオープンデータの取組方針を策定(令和7年4月)

国土交通省インフラ分野におけるオープンデータ取組方針

- オープンデータを推進することにより、データの拡充、蓄積、連携が進み、そのデータを活用してユースケースが創出される、持続的なサイクルの構築を目指し取り組み方針を策定

<目指す姿>



取組方針

- ① 社会全体のイノベーション創出が推進されるよう、利用者のニーズ等を踏まえオープンデータ化に努める。
- ② オープンデータにあたっては、利用者の利便性が確保されるよう機械判読に適した構造及びデータ形式で公開する。
- ③ 国民誰もがウェブサイトで容易に必要なデータを検索できる環境を整備するとともに、API等により効率的なデータの提供を推進する。

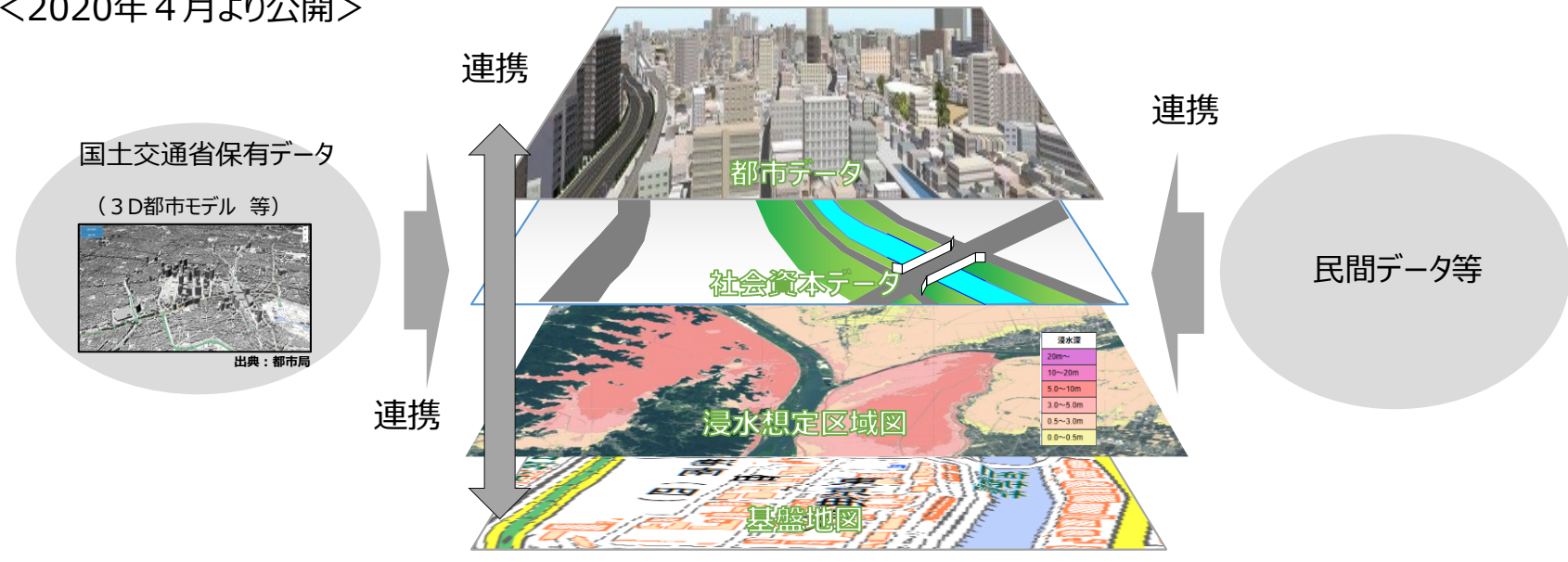
(注)

- ・国土交通DPFと連携した場合は、上記①～③を満たすこととなる
- ・国土交通DPFとの連携を検討することとする。
- ・各システムからデータ利用者に対し、API等で直接データ提供も推奨

(参考) オープンデータのプラットフォーム～国土交通データプラットフォーム～

- 国土交通省が多く保有するデータと民間等のデータを連携し、国土交通省の施策の高度化や産学官連携によるイノベーションの創出を目指すことを目的に、国土交通データプラットフォームを整備
- 連携データは、同一の地図上で表示・検索・ダウンロードが可能。現在24システム、約300万データが連携

<2020年4月より公開>



■ 連携システム (24システム 300万データ)

※令和7(2025)年 5月末時点

国土に関するデータ		経済活動に関するデータ	自然現象に関するデータ
・電子納品保管管理システム ・社会資本情報 ・国土数値情報 ・PLATEAU ・東京都ICT活用工事3D点群データ ・静岡県 航空レーザー点群データ ・全国道路施設点検データベース ・Cyberport		・全国幹線旅客純流動調査 ・FF-Data (訪日外国人流動データ) ・道路交通センサス ・GTFSデータリポジトリ	・水文水質データベース ・DiMAPS ・SIP4D ・自然災害伝承碑
・国土地盤情報データベース ・My City Construction ・海洋状況表示システム (海しる) ・ダム便覧 ・高速道路会社の工事発注図面データ ・工事実績情報システム (コリンズ) ・熊本県施設管理データベース ・インフラみらいマップ			

インフラ分野のオープンデータの今後の取り組みについて

- インフラ分野のオープンデータの取組を加速し、社会全体のイノベーション創出を推進するため、
①オープンイノベーションの推進、②業務の効率化、施策の高度化、③デジタル人材の育成、
④生成AIの技術進展を踏まえたデータの整備、活用について積極的に取り組みを推進。

①オープンイノベーションの推進

Keyword

- 領域間、部門間、施策間の連携
- 分野横断的、組織横断的な取組
- ハッカソンや社会実験等の実施
- 民間企業等とのデータ連携

②業務の効率化、施策の高度化

Keyword

- 各種のシミュレーションを実施
- SIP等で進められている研究開発とも連携し、技術開発・環境の基盤を整備
- 民間投資、技術開発が促進される社会の実現

③デジタル人材の育成

Keyword

- 業界全体として人材育成
- 情報分野とインフラ分野の知識を有する者の育成
- 教育訓練や必要な資格を評価できる仕組みを構築

④生成AIの技術進展を踏まえたデータの整備、活用

Keyword

- 大規模言語モデル(LLM)を効果的に活用
- 生成AIの学習データという観点で、データ整備やこれまで蓄積してきたインフラ分野のデータの活用について検討